



## レプソルはエンジンにとって 最良のパートナー

クルマの基本的なメンテナンスのひとつであるオイル交換。  
大切な愛車だからこそ、使用するオイルにもこだわりたい。  
レプソルはそんなオーナーの想いに応えてくれる。



レプソルの創業は1944年。スペインのマドリードに最初のリサーチセンターが設立された。



ヨーロッパでは最大のベースオイル製造能力を持つレプソル。供給量も世界でもトップクラス。



モータースポーツにおけるレプソルの2輪での活躍は有名な話だが、4輪の分野でもラリーに参戦するなど、その高い性能はメーカーからも高い評価を得ている。モータースポーツという過酷なシーンでもエンジン性能を最大限引き出しているからこそ選ばれているのである。



自社で調達した原材料でベースオイルを製造。長きに渡り培ってきた技術が現在も生かされている。



クルマの進化に対応するべく、レプソルの研究者たちは日々新しいアイデアを模索している。



製品化されたエンジンオイルは世界40カ国で展開。自動車メーカーの純正オイルとしても採用されている。

### レプソルは総合エネルギー企業

1944年にスペインのマドリードで創業したレプソル。当初は国営企業であったが、その後民営化されて現在に至る。国営企業という、お堅い印象を受けるが民営化されてからは保守からの挑戦であり、技術的にも大きな進化を遂げていく。現在のレプソルは総合エネルギー企業として成長し、潤滑油だけではなく燃料などの製造も行っている。ちなみに、スペインのガソリンスタンドの多くはレプソル

となっている。

レプソルというとモータースポーツのイメージを持つ人が多いと思うが、スポンサーだからには勝てるチームを作ることが最大の目的であり、いわゆる広告、宣伝はその後に付いてくるものと考えている。実際に2輪の分野ではレプソルホンダチームとしてワールドチャンピオンを獲得し、その地位を確かなものにした。

レプソルは自社で製品の研究を行っており、開発、テスト、モータースポーツといったように一貫して行える体制と施設が整っている。後で

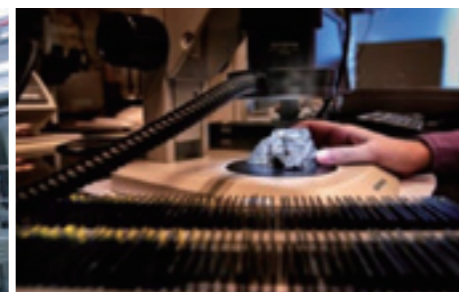
述べるが、その研究施設はヨーロッパ最大級であり、たくさんの研究者によって性能を高める技術が磨かれているのだ。

レプソルが民営化されてから、来年で25周年を迎える。国営時代の良い部分を残しつつ、挑戦し続けてきたレプソルが生み出す製品は、どれも高性能を誇る。単にレースで勝ったメーカーが作ったオイルというだけでなく、地道な研究と独創的なアイデアによって進化を遂げている。次のオイル交換のタイミングを迎えたら、ぜひ試してほしい。



ヨーロッパ最大級のレプソルの研究施設でオイルが開発され、徹底的なテストが行われる。エンジンのベンチテストはもちろん、モータースポーツ用のオイルも開発することで、常に高性能なオイルを提供し続けている。自動車メーカーにも OEM 供給するなど、サプライヤーとしての顔も持つのがレプソルなのである。

世界でもトップクラスの技術で原材料を自社調達できるのがレプソルの強み。G III ベースオイルでは世界の 85% を供給しているなど、総合エネルギー企業として確固たる地位を築いている。



自社に 300 名以上の研究者が在籍しているレプソル。これだけ多くの研究者が在籍しているのは世界的に見ても珍しいことで、現代のクルマにマッチしたエンジンオイルの開発はもちろん、環境にも配慮した様々な潤滑油が作られている。



## ヨーロッパ最大級の 研究機関であり、メーカーでもある

レプソルは総合エネルギー企業であり、エンジンオイルの分野においてもヨーロッパで確固たる地位を築いているメーカー。自社に 300 名もの研究者が在籍しており、その施設はヨーロッパでも最大級である。



### 自動車メーカーにオイルを供給 サプライヤーとしての顔も持つ

レプソルの強みと言えるポイントは 3 つ。まずは原材料の調達を自社で行っていること。埋蔵された原材料を吸い上げる技術は世界でもトップクラスなのだ。原材料がどこに埋蔵されているかの調査自体は技術が進歩した今ではそう難しくないのだが、確実に吸い上げる技術は簡単ではない。長きに渡りメーカーとして自社調達にこだわってきたからこそ、高い技術で

確実に原材料を調達でき、その供給量のシェアも G III ベースオイルでは世界の 85% となっているというからすごい。

2 つめが 40 カ国でレプソルを展開しているということ。それが信頼の証であることはもちろんのこと、自動車メーカーに純正オイルを OEM 供給しているサプライヤーでもある。ドイツ車ではフォルクス・ワーゲン、アウディ、日本車ではホンダ、ニッサン、三菱、スズキなどに純正オイルを提供。これも自動車メーカーの厳しい要求に応えられる性能と技術を

持っているからに他ならない。

そして 3 つめが、自社に 300 名の研究者が在籍していること。これは他社と比較しても圧倒的に多く、その研究施設はヨーロッパ最大級。そこで生まれる画期的なアイデアは、日々商品の開発からテストに至るまで自社で徹底的に実施されている。モータースポーツの分野では、2 輪（バイク）のレプソルホンダチームが有名だが、長きに渡ってパートナーとして在り続け、かつワールドチャンピオンを勝ち取っていることも性能や技術の高さの証明と言える。

## LINE UP

クルマの年式や走行距離に合わせたチョイスが可能



### ■ プレミアムテック (5W-30)

幅広いメーカーに対応し、ガソリン・ディーゼル、どちらのエンジンにも使用できる化学合成油。エンジンをクリーンに保ちスラッジの発生を抑制。優れた防錆性と油膜保持力で、エンジン内部パーツの保護にも高い性能を発揮する。

### ■ エリート・マルチバルブ (10W-40)

せん断性能に優れた合成オイルベースのマルチグレード。低温での粘性が低いという特性を持ち、あらゆる温度下でスタートと潤滑を容易にする。最新のガソリン/ディーゼルエンジンに対応するのはもちろん、古めのクルマにも最適。

レプソルのエンジンオイルを積極的に扱っているのが、千葉県にあるジースタイル。年式やエンジンタイプ、さらにクルマに走り方に合わせて最適なオイルをチョイスしてくれる。

● 問い合わせ：ジースタイル ☎ 04-7187-4405